

大原幽学記念館

館内 展示



1階郷土展示室

旭市を中心とした古代から現代までのあゆみを資料と映像で紹介しています。

2階幽学展示室

幽学関係の歴史資料は平成3年に国の重要文化財の指定を受けました。著作、日記、書簡、書画や着物、刀など、幽学ゆかりの遺品類を公開し、その生涯と業績を紹介しています。



幽学講義のようす

講座・ 体験

記念館では、生涯学習の場として各種の講座や体験を行っています。



勾玉づくり講座



布ぞうりづくり講座



〒289-0502 千葉県旭市長部339 公園内の入園は無料です。

- 車** 国道126号線旭市袋交差点から県道「旭・小見川線」経由15分
国道356号線香取市大根塚から県道「旭・小見川線」経由20分
東京方面から…東関東自動車道「大栄IC」—「終点」より
「大栄・栗源・干潟線」経由35分
※駐車場無料。大型可。利用時間は午前9時～午後5時。
- 電車** JR総武本線「旭駅」から小見川方面行きバス
JR成田線「小見川駅」から旭方面行きバス
いずれも「中和」下車、徒歩25分
※本数が少ないため事前にご確認ください。
※最寄駅の「旭駅」からは約9kmです。
- 高速バス** 東京駅八重洲口から銚子行高速バス「干潟」下車、徒歩25分

開園開館 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日、祝日の翌日 年末年始(12月28日から1月4日)
※臨時に休館することがあります。

入館料	個人	団体(15人以上)
一般	300円	250円
小中高生	200円	150円

入館料免除の対象となる場合

- 身体障害者福祉法の規定に基づく身体障害者、療育手帳を有する者及び精神障害者保健福祉手帳を有する者。
- 生活保護法による保護を受けている者。
- 児童福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、老人福祉法による施設に入所している方が職員の引率でご利用する場合。
- 学校での学習や研修を目的とした場合。
※事前に免除申請書の提出が必要となります。



旭市イメージアップ
キャラクター あさび

発行 大原幽学記念館(大原幽学遺跡史跡公園内)

〒289-0502 千葉県旭市長部345番地2

電話番号 0479-68-4933

<http://www.city.asahi.chiba.jp/yugaku/>

2021.10 10000



国指定史跡

大原幽学 遺跡史跡公園



旭市



幽学ゆかりの地を訪ねて

幕末の農村指導者の先駆者、大原幽学。幽学の活動拠点であったこの地は、昭和27年に国の史跡指定を受け、大切に伝えられてきました。その後、干潟町（現旭市）が地元から遺跡、資料ともに寄贈をうけたことから、昭和62年には史跡公園として整備が進められ、平成8年には園内に記念館も開館しました。

記念館では、旭市立の施設として幽学の貴重な遺品や著作類を公開しているほか、東総地域を中心とした歴史・民俗をテーマに展示・保存・調査といった活動を行っています。

椿の里

椿は市の花で、2月下旬から4月まで、園内の約3,000本の椿が見ごろを迎えます。この地の品種として「下総侘助」が知られています。



四季めぐり
公園

長部城址

園内の大部分にあたる中世の砦跡です。龍ヶ谷と称する高台を中心に空濠の一部と物見台の跡があります。千葉一族である松澤氏が9代にわたって居城していたと伝えられています。



幽学の里米作り交流事業

江戸時代にこの地を訪れ農業技術の改革や農村生活の改善に尽くした大原幽学。そのゆかりの国指定史跡となっている水田で、米作りを体験することで、農村と都市との交流を図り、農業の大切さと自然の豊かさを学んでもらう事業です。

米作り交流事業 スケジュール

- 5月 田植え
- 7月 草取り・生きもの調査
- 9月 稲刈り
- 10月 収穫祭



春			夏			秋			冬		
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
サザンカ・ツバキ		フジ	アジサイ	ヤマユリ				モミジ		サザンカ・ツバキ	
ウメ	サクラ	ツツジ・サツキ	キンシバイ							ウメ	
スイセン			スイレン								
		田植え				稲刈り					



大原幽学(1797-1858)は千葉県を代表する偉人の一人で、「先祖株組合」と呼ばれる農業協同組合を組織した幕末の農村指導者です。

道徳と経済の調和を基本とした独自の学問「性学(せいがく)」を説き、房総を中心に多くの門人を集めました。苦勞の漂泊生活の末に、長部村(現旭市長部)に居をかまえ活動の拠点とし、仲間とともに農村改革に尽力しました。

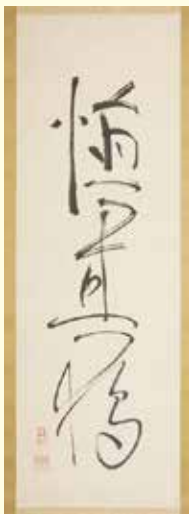
先祖株組合の結成、耕地整理、住居移転、集落の造成、農業技術の指導などの農業改革のほか、独自の思想に基づいた生活改善や教育仕法なども行い、村は領主から表彰を受けるほどの復興をとげました。

しかし、農民が村を越えて活動を行ったことから、幕府の嫌疑をうけることとなり、失意のうちに安政5年(1858)3月8日、自害により62歳の生涯をとじました。



大原幽学肖像 保爾画

没後に描かれたものだが容貌をもっともよく伝えているといわれているもの。



規矩「慎其獨」(その独りを慎む)

幽学自筆の掛け軸。門人の生活の規範とするためこうした字句を多く残しました。



先祖株組合の契約書

組合の運用を取り決めたもの。合計8ヶ村で結成されました。



改心楼絵図

改心楼は門人の増加に伴い嘉永3年(1850)に建設された専用の教導所で、幽学の設計で竣工しました。晩年の裁判の判決により取り壊しを命じられ建物は現存しません。



遺書

幽学は門人に宛てて遺書を残しました。彼の生き様を凝縮したような文章で、「時に僕十八歳にして漂泊の身となり」ではじまるこの書き置きは、死に臨む心情、深い悲しみと自省の念が感じられます。



自刃の短刀

「難舍者義也」(捨て難きは義なり)の文字が刻まれています。

年譜

年号	西暦	年齢	主な事蹟
寛政9年	1797	1	3月17日、尾張藩(現名古屋) 大道寺家の出と伝えられる
文化11	1814	18	3月、生家を勸当され漂泊の生活が始まる
文政6	1823	27	2月、近江国(現滋賀県) 伊吹山松尾寺に寄寓し、住職提宗に学ぶ
文政13	1830	34	3月、再び提宗和尚を訪ね、その激励をうけて社会運動の実践を決意
天保2	1831	35	信州上田および小諸で講義をし、門人が増える8月、上田を去り江戸に向かい、その滞後に浦賀から海路にて安房国(現千葉県)に入る
天保6	1835	39	8月、名主遠藤伊兵衛の依頼で初めて長部村を訪れる
天保9	1838	42	9月、長部村に先祖株組合を結成する
天保12	1841	45	2月、長部村で土地の分合、耕地整理を行う
天保13	1842	46	9月、遠藤伊兵衛ら幽学に住居の提供をする
嘉永元	1848	52	2月、領主から模範村として表彰される
嘉永3	1850	54	4月、門人増加に伴い、教導所である改心楼が完成する
嘉永5	1852	56	4月、関東取締出役の手先が改心楼に乱入する事件が起こり、これをきっかけに幽学の取り調べが始まる
安政4	1857	61	10月、事件の判決が下り、幽学は押込百日を言い渡される
安政5	1858	62	3月8日未明、長部村の墓地で自刃を遂げる

大原幽学遺跡あんない

大原幽学遺跡は国指定史跡です。史跡公園として整備されていますので、昔のままの景観を保つようつくられています。坂や階段が多く、急斜面もあります。ご利用には十分ご注意ください。

旧林家住宅

幽学の高弟である十日市場村(現旭市)の林伊兵衛の住居で、幽学的设计によるものです。天保15年(1844)の銘があります。昭和63年(1988)に、保存のため復元移築されました。(千葉県指定有形文化財)



旧宅

生前の居宅兼教導所で幽学自らの設計によるものです。天保13年(1842)に住居として改築されました。8畳2間のほかに台所、便所押入などを備えてあり、質素で丈夫な造りになっています。屋根はもともと茅葺きだったものが大正末に銅板に改修されました。



大原聖殿(改心楼跡地)

幽学80年忌にあたる昭和12年(1937)に建立されました。この場所は幽学生前の教導所である改心楼があった場所でもあります。奥殿も含めた社殿が建てられており、当初は「大原神社」として神社申請もされましたが、許可がおりずこの名称となっています。



宝蔵庫

慶応4年(1867)にこの土蔵と思われる普請記録が残っているが、正確な竣工時期は不明。幽学の遺品等を保存するために長らく使われていました。



龍ヶ谷

安政4年(1857)に幽学の門人たちが三神を祀る聖地として造られたといわれる遺構。幽学の頌徳碑をはじめ、幽学や門人たちに關する数基の石碑が建立されています。



耕地地割

幽学が天保年間に門人の協力で耕地整理を行った字八石(はちこく)の水田。ほぼ当時の区割りりをのこす貴重な水田です。



墓所

自害した場所に没後、墓碑が建立されました。現在の長部地区の共同墓地内にあります。

